

あつべつ

2008
2

区民のページ



厚別区シンボルマーク

1月1日現在 ()は前月比
厚別区の人口 129,283人 (+54)
人口・世帯数 男 59,971人 (+13)
女 69,312人 (+41)
世帯数 53,615世帯 (+73)

厚別区総務企画課広聴係
編集
〒004-8612
厚別区厚別中央1条5丁目
TEL 895-2400 内線224~226
FAX 895-2403

あつべつじん 厚別人

- 厚別人とは -
厚別区で、魅力ある
さまざまな活動をして
いる人の総称です



「下野津幌郷土誌」は私の厚別の民話研究の原点

先人たちの息吹を後世に 伝えたい

北星学園大学で教壇に立つ阿部教授。北海道の民話研究の専門家であり、地元歴史にも精通しています。「高校の国語教師だったころ、古典の授業で民話を調べる機会があり、その歴史的背景に興味を持ち始めました」と民話との出会いを話します。民話の魅力について「歴史には残らないかもしれないが、民話の魅力を伝えることはできる」と話します。

北星学園大学 文学部教授
阿部 敏夫

Profile (プロフィール)

あべ・としお 北星学園男子(現北星学園大学附属)高等学校教諭を経て、平成13年に現職に就く。民話に関する著書を多数執筆。厚別区在住。66歳。

い人々の暮らしの息吹を感じることができるといふことと力説します。

それから日本や北海道、地元厚別の民話を調べるようになった。本格的に研究を始めたのは、昭和五十九年に『下野津幌郷土誌』の執筆を町内会に依頼されたのがきっかけでした。地域を回ってインタビューや座談会を何度も行い、記録と照らし合わせながら埋もれた史実を明らかにしていくのは、気の遠くなるような作業だったそうです。「苦労も多かったですが、新たな民話や歴史に触れることができ本当に楽しかった」と振り返ります。約三年かけて一冊の本にまとめ上げました。「これからも地域の民話に耳を傾けながら、後世に伝えることに尽力していきたい」。阿部教授の民話への探究心が衰えることはありません。

注目

あつべつ今昔ものがたり

今月号の特集は、阿部教授が執筆しています。ぜひご覧ください。

